若きいのち

KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学　広報誌

2011年　6月発行　No.73

「いつか来た道」（福山市：みろくの里）で散策する学生と教員（撮影：河邉　聡子）

特　集　**新入生学外研修**

- 短歌・俳句表彰／新任教職員紹介
- 教育の質の向上を求めて／国家試験・進路状況
- 大原美術館学校メンバーズ制度／Moodleリニューアル／川崎エコプロジェクト
- 協助会報告
- インフォメーション

特集 新入生学外研修 ―ようこそ川崎医療短期大学へ―

4月7日、満開の桜がキャンパスを薄紅色に染めるなか、平成23年度入学式が挙行され、5学科389名の新入生が川崎医療短期大学の仲間入りをしました。本学では、円滑な学生生活のスタートを目的に入学予定者に対して「庶務課・教務課ガイダンス」「履修方法」「コミュニケーションオリエンテーション」などのオリエンテーションを実施しています。

そして、教員や先輩たちと親睦を深めるために、入学まもない4月～5月に各学科で工夫を凝らした新入生学外研修を開催しています。この研修では、学内では見ることのできない学生や教員の一面を発見でき、同じ目標を持って集まったクラスメートと親交を深める絶好の機会になっています。今回の特集は、この新入生学外研修の内容と学生の様子をご紹介します。

コミュニケーションオリエンテーション

体育館でのオリエンテーション

入学宣誓（看護科　長﨑 友美さん）

入学式での医療保育科2年次生による学歌斉唱

保護者会後の学生と保護者（介護福祉科）

このたびの東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

川崎医療短期大学では震災により被災された皆様に対する支援と被災地の復興等に役立てていただくため、3月～4月にかけて義援金の募集を行ってまいりました。教職員から187,194円、同窓会から300,000円の寄付が集まり、川崎学園全体として7,270,864円を日本赤十字社へ寄託しました。さらに、本学学友会メンバーが中心となって3月15日以来募金活動を展開しています。現在、428,443円の義援金が集まっています。被災地域の一日も早い復興を願い、ここに報告をさせていただきます。

看護科

4月23日（土）

ボウリング大会

新1年生142名と教員21名は、大型バス3台に分乗し、朝8：20から13：00まで学外研修に出掛けました。今年は、雨天のため、予定されていた鷲羽山ハイランドから「ボウリング」に変更しました。1グループ6名で構成された24グループは、ボウリングで点数を競い合う中、仲間にかけ声をかけ、ストライクが出た時はハイタッチをするなどコミュニケーションをとっていました。その後、鷲羽山ハイランドのデリカカフェ「ジャネイロ」に移動し、昼食をとりました。最後に本学に帰り、ボウリング大会の表彰式を行いました。合計点数上位5位までとブービー賞のチームに表彰状とお菓子が贈られました。

1 自己紹介

バスの中で、マイクを回して自己紹介をしました。自分を知ってもらうため、ちょっと恥ずかしいけれど、元気さをアピールしました。時には、大爆笑したり、「へえ〜」と関心したり、「わぁ〜」と驚いたりすることもありました。いろんな人がいるんだな〜。

2 爽快な音と笑い声

各グループに分かれて、ボウリング大会の開始です。10本のピンを倒すという爽快感、ピン同士がぶつかる大きな音、笑い声がボウリング場に響き渡っていました。今日は日頃のストレスを解消です。皆で力を合わせて頑張りました。

3 ストライク！

ボウリング大会も佳境に入り、各レーンでは盛大なかけ声が響き渡っていました。「ストライクだ！」とハイタッチをしてグループみんなで喜びを分かち合いました。そして次の人もそのパワーを貰い頑張りました。

4 ようやくお天気の昼食

正午には雨も上がり、鷲羽山ハイランドに移動し、昼食に準備されたお弁当を食べました。ブラジルのスタッフから賑やかなもてなしを受けながら、運動の後の食事は一層おいしく、笑い声が絶えまなく続き、会話が弾んで楽しい昼食となりました。

5 表彰式

本学に帰って、ボウリング大会の表彰式を行いました。上位のグループは中西学科主任より表彰を受け、グループの協力で成果を出せたことに大喜びしていました。そして、何よりも今日は、仲間の意外な一面を知るきっかけともなり、友達が増えました。

参加学生感想

看護科　1年
伊藤 ありさ

あいにくの雨のため、ボウリングでの研修となりました。6人でグループを作り、たくさんの話をしながらゲームが進みました。最初はガーターばっかりでしたが、ゲームが進み、だんだん慣れてくるとストライクが出るようになり、メンバーでハイタッチをしてとても盛り上がりました。この研修を通してたくさんの友人や先生との親睦を深めることができました。この機会を十分に活かし3年後の国家試験に向けてみんなで頑張りたいと思います。

臨床検査科

4月16日（土）

岡山市立少年自然の家

臨床検査科39期生63名は、新入生の仲間づくりと学生・教員間のコミュニケーション作りのため日応寺（にちおうじ）にある少年自然の家に研修に出掛けました。教員10名、2年生も14名参加し、バス2台に分乗して8時45分から夕方まで活動しました。楽しく身心も鍛えられた研修で、春間もない野山を思い切り歩き回り、自然と触れ合い、友達も出来て満足な1日になりました。2年生の活躍も目覚ましく、ネイチャーワークではトランシーバーを持ち、山中で監視役に徹し、新入生が快適に行動できるように頑張りました。

1 友達とリラックス

休憩時間は広場で体を休め、友達と親睦を深めることができました。山歩きから帰って来て飲んだジュースはおいしかったです。2年生とも交流がもて、有意義な時間を過ごすことができました。

2 楽しいカレー作り！

野外炊事が始まりました。指導者のご協力もあり、上手に火を熾すことができました。時に煙で涙目になりながらも、カレー作りを頑張りました。みんなで様々な会話をしながら、カレーやご飯ができるのを楽しみに待ちました。

3 野外テーブルで昼食

カレーが完成した時、とても達成感がありました。
外は少し肌寒く感じましたが、自然の中でみんなと一緒に食べるカレーは美味しく、最高！心も温まりました。どの班も笑顔がはじけ、とても楽しそうでした。片付けも協力し合いながら手際よくできたので良かったです。

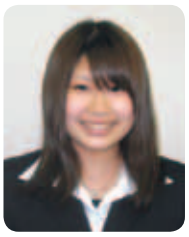
4 ネイチャーワークで自然を満喫！

ネイチャーワークでは、リーダーやサブリーダーを筆頭にみんなで協力してゴールを目指しました。地図を頼りに、鳥の声を聞き、自然の木々、植物や川を見ながら楽しく歩くことができました。普段では味わえない新鮮な気持ちになりました。

5 明るい笑顔！

最後に、全員で集合写真を撮りました。みんなの笑顔は、美しい空の青さに映え、とても輝いていました。思い出に残る素晴らしい写真ができあがりました。これから先、みなさんは、心のキャンバスにどんな思い出を描いていくのでしょう。楽しみですね。“夢に向かって、ガンバレ！”

参加学生感想



臨床検査科　1年
田邊　雪乃

学外研修では、団体行動の大切さや一生懸命さ、人への思いやりなどの医療専門職に必要とされる感情を育むことができました。3年間同じ夢に向かって進む仲間と充実した一日を過ごすことができ、本当に良かったです。“仲間がいる”という心強さが芽生え、頑張ろうという気持ちになることができました。この研修を通して精神的に変われた自分がいます。参加の機会を与えてくださった先生方や恵まれた環境に感謝の気持ちでいっぱいです。

放射線技術科

5月28日（土）

人形峠展示館を訪問

今年も、岡山県と鳥取県の県境にあるウラン鉱床として有名な人形峠を訪れ、そこにある人形峠展示館で、原子力エネルギーの利用方法や環境放射能などについて研修を受けました。また、館内にあるアトムサイエンス館では、多数の原子力関連の展示物やアトラクションを通して研修の知識を深めました。その後、国民宿舎で昼食をとり、近くにある妖精の森ガラス美術館を訪れ、芸術的なガラス工芸や、人形峠産のウランを使ったウランガラスの作品を見学しました。クラスメートや先生方との親睦を深める楽しいバスでの一日旅行となりました。

1 人形峠展示館に到着

大型バス2台に乗り込み、友達と会話をしたりゲームをしながら、約2時間かけて岡山県の県北にある人形峠展示館に到着しました。標高700m位に施設があり、緑豊かな自然に囲まれています。朝方の雨も降り止み、楽しい一日となりそうです。

2 原子力エネルギーについて研修

人形峠環境技術センターの方から、人形峠のウラン採掘の歴史や、センターで研究開発が行われてきたウラン濃縮技術などについてご教授頂きました。また、人体に対する放射能の影響や、核燃料物質がどのように社会に有効利用されているのかも学ぶことができました。

3 体験型アトラクションで学ぼう

人形峠展示館の中にあるアトムサイエンス館には、原子力エネルギーや環境放射能についての展示物やアトラクションがたくさんありました。実際に見て・触れて・体験することで、環境とエネルギーとの関わりについて理解を深めたようです。

4 お待ちかねの昼食

国民宿舎でようやく昼食。皆さんかなりお腹が空いていたようで、食事中はあまり話もせず夢中で食べていました。地鶏のから揚げ定食は、見た目以上のボリュームで、味・量ともに大満足。お腹が満たされてからは、仲間同士でくつろいでいました。

5 神秘的なウランガラスの発色に感動

昼食の後は、妖精の森ガラス美術館を見学。見どころは、ガラスにウランを混ぜたウランガラスの工芸品です。紫外線を当てると神秘的な蛍光グリーンを発色します。ウランガラスの歴史は古く、ヨーロッパなどの貴重な作品も展示されていました。

参加学生感想

放射線技術科　1年

岩鼻 早紀

学外研修として人形峠と妖精の森ガラス美術館に行きました。人形峠では、放射線やウランについての説明を聞き、施設内でゲームをしながら楽しく学ぶことが出来ました。妖精の森ガラス美術館では、ウランガラスの説明を聞きながら施設内を見学しました。紫外線を当てると色が変わってとても綺麗でした。金属を入れることによってガラスの色が変わることは初耳でした。今回の研修は初めて聞くこともあり、とても充実したものとなりました。

介護福祉科

4月16日（土）

みろくの里と鞆の浦

介護福祉科では、在学生も参加して新入生学外研修が開催されました。今年は、みろくの里の「いつか来た道」を見学、昭和30年代の街並みや生活用品を体験、これから学外実習等で接する高齢者の時代背景や生活様式を学びました。その後、鞆の浦へ移動してヘルシーバイキングの昼食をとり、散策しました。この散策では1年生と2年生がグループとなり教員が考えたクイズの答えを探しながら海辺ののどかな風景を楽しみました。当日は、お天気にも恵まれ、行きのバスの中からおおはしゃぎ、日頃話をすることがない先輩とこれからの本学での生活の情報を交換したり、教員と交流を深めたりしました。

1 満開の桜の前でピース

前日の雨がウソのよう・・・みろくの里では、桜の花が満開でした。1年生と2年生で仲良く記念撮影。「いつか来た道」では、いつの間にか昭和にタイムスリップして、ノスタルジーな雰囲気に浸りました。ふるきをたずねて新しきを知る体験ができました。

2 みろくの里に到着

約2時間かけて、みろくの里に到着。ゲート前で集合写真を撮りました。みんな疲れもみせず、ポーズを決めています。前列では介護福祉＝care workをあらわすように「CW」と指文字で表現している学生もいます。みんな素敵な笑顔です。

3 懐かしいもの、珍しいものがたくさん

昭和30年代の街並みを再現した「いつか来た道」。そこでは、射的や羽子板、ボールすくいなど昔の夏祭りの再現コーナーがありました。そこで見つけたわたがし機。口の中に入れた途端、甘さがいっぱいに広がり溶けていきました。

4 何を食べるか迷い中

昼食は、60種類を超えるヘルシーバイキング。メニューの中からグループで協力し合い、食べたい物を皿に取り分けていました。旬の新鮮素材を活かした料理とピアノの生演奏で、1年生と2年生、教員との会話も自然に弾んでいました。

5 鞆の浦でピース

午後からは、映画「崖の上のポニョ」の故郷でも有名な街、鞆の浦を散策しながら難解なクイズラリーをしました。鞆の浦は坂本龍馬が訪れた街としても有名で、至る所に歴史の足跡がありました。石畳や古民家もたくさんあり、風情を感じることができました。

参加学生感想

介護福祉科　1年
大崎　莉穂

みろくの里の「いつか来た道」は、私たちにとって懐かしいというより珍しい昭和の街並みでした。しかしここを見学した事は、これから実習等でお会いする高齢者の方の生活を知ることができたため、大いに役に立つと感じました。次に鞆の浦では、グループでクイズを解きながら散策し、いつの間にか友達同士が打ち解け、コミュニケーションを取れたことがうれしかったです。今回の研修で学んだことを日々の生活やこれから始まる実習等で役立てていきたいと思います。

医療保育科

4月16日（土）

倉敷市少年自然の家

医療保育科では、新1年生と教員が参加して、学外研修が開催されました。今年は、倉敷市児島にある倉敷市少年自然の家にて野外でカレーを作りました。飯ごうでお米を炊きましたが、何度も飯ごうのふたを開け、焦げていないかを確認しました。カレー作りでは手も顔も真っ黒になりながら鍋を混ぜたり、火加減を調整したりしました。その後、室内で体操をしたり、アドバイザーごとにグループになって紙飛行機を飛ばす競争をしたりしました。帰りのバスではさすがに疲れた様子でしたが、カレー作りでのエピソードを話しながら、とても楽しそうな帰路でした。

1 カレーで笑顔！

苦労して作ったカレーをみんなで食べました。薪割りをしたり、包丁で野菜を切ったり、火の扱いに苦労しました。しかしその分、おいしいカレーができあがり、食べているときの表情はみんないい顔でした。

2 さあ、作るぞ！

グループに分かれてカレーを作りました。話をしたことがある人もない人も、一緒に準備しました。緊張もあったようですが、協力をしなければ進まないため、メンバーは少しずつ打ち解けていきました。

3 協力し合って…

火加減にとても苦労しました。竹筒でフーフーしながら空気を送ったり、薪を崩して火を弱めたり日頃しないことの連続でした。そして、たくさんの思いと熱意をこめて、ご飯とカレーができあがりました。

4 つながりを深める

室内で紙飛行機を作り、飛ばしました。その後、アドバイザーの先生を囲み、学生生活のことを話し合いました。たくさんの人と話すことができ、クラスのつながりが深まりました。

5 みんなで！

グラウンドで集合写真を撮りました。笑ったり、照れたり、少し疲れていたりといろいろな表情が揃いました。授業や実習、オペレッタなどの学生生活を一緒に過ごしていく仲間です。

参加学生感想

医療保育科　1年
山﨑　麻由

入学したばかりなので、クラスの中で話せる人が少なかったのですが、学外研修に参加して今まで話をしたことのなかった友達との輪が広がりました。一緒にカレーを作ったり、紙飛行機を飛ばしたりしながら、たくさんのことを話すことができました。先生方とも話すことができ、これからの学生生活が過ごしやすくなりました。

◆日本語に関する取り組み◆

コンテスト受賞者のお知らせ

建学の理念に掲げられている「人をつくる」ことを目的として、日本語に関する取り組みを行っています。

これらの取り組みは平成二十二年度後期共通教育科目「文章表現」、医療保育科専門教育科目「幼児と国語」の中で行われたものです。指導は、一般教養の橋本美香先生をはじめ、非常勤講師の見尾久美恵先生、高畑頼子先生によって行われています。

今城吉成学長宛に受賞の通達と賞状等の届いたコンテストについて、平成23年4月15日に授賞式が行われました。

今城学長から、受賞者に対して、受賞者に対する賞賛の言葉と、今後も日本語力の向上をめざし、コンテストにも挑戦をしてほしいというメッセージが送られました。

医療保育科3年水野夏希さん 第24回 東洋大学「現代学生百人一首」入選

医療保育科3年水野夏希さんが、60,777首の中から、第24回東洋大学「現代学生百人一首」に選ばれました。大学生で選ばれているのは、百首のうちのわずか二首で、そのうちの一首が水野さんの短歌という快挙です。

入選作は、東洋大学のホームページ上に掲載されています。また、冊子も発行されています。

◆先を行くあなたの背中
見つめてる
ほんとは並んで歩きたいのに
水野　夏希

第16回 前田純孝賞にて 準前田純孝賞他5名が受賞

新温泉町、新温泉町教育委員会、神戸新聞社主催第16回「前田純孝賞」学生短歌コンクールにおいて、放射線技術科2年生から5名が受賞しました。

◆好きだったのばしたあなたのアゴヒゲもいつしか消えた就活のため
準前田純孝賞　井島　夏子

◆けがをしてまず気になるのは骨の名前解剖学の勉強しなくちゃ
新温泉町町長賞　瀧本　大貴

◆ガイコツが昔は恐怖だったけど今はなんだか愛おしい
神戸新聞社賞　前原日向子

◆カフェオレが病気のように大好きだそれほど夢中に恋してみたい
佳作　岡崎　真奈

◆朝早く起きて髪巻く火曜日はあなたの授業きくためにある
佳作　岩﨑　静香

詳細は、第十六回「前田純孝賞」のホームページをご覧ください。

第29回 学生・児童短歌 大学生・専門学校の部 入選・佳作に7名

短歌新聞社主催「第29回短歌現代学生・児童短歌」において、臨床検査科2年生から1名が入選、6名が佳作に選ばれました。詳しくは、『短歌現代』2011年3月号、短歌新聞社発行をご覧下さい。入選者と佳作の受賞者ならびに短歌は左記の通りです。

◆おじいちゃん着てるセーター似合ってるね来年もまた買ってあげるけん
入選　黒川　由貴

◆「なんとかなる」「大丈夫さ」という私自分のことすら信じられずに
佳作　藏本　麻未

◆採血で人に針刺すあの瞬間罪悪感半分楽しさ半分
佳作　山根　愛美

◆「またねっ」とあいさつしてから時は過ぎあれから一度もおとさたはなし
佳作　淺川　泉

◆窓の外さぼってる君が目に入るわたしもそっちへつれていってよ
佳作　尾崎　真美

◆緊張を感じなくなるその瞬間走り出すための号砲が鳴る
佳作　野村　康成

◆ねむたいと朝からいってしまってる寝ても寝たりぬこの一週間
佳作　川上　百恵

新任教職員紹介

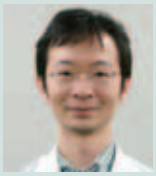
本年度から本学の仲間になった教職員の方々を紹介します。

柏野 明美　臨床検査科　講師

本学の臨床検査科を卒業後、岡山川崎病院の中央検査部で検体検査を担当してきました。病院勤務経験を生かし臨床検査の面白さと奥の深さを伝えたいと思っています。学生の皆さんが本学の卒業生でよかったと思えるよう、共にがんばりましょう。

田淵 昭彦　放射線技術科　講師

本学8期生の卒業生で、平成21年に学位を取得しました。現在、川崎病院中央放射線部技師長を兼務しています。現場で培った経験をもとに、臨床に即した分かりやすい『役に立つ授業』を目指しています。



渡部　茂　放射線技術科　講師

診療放射線技師になるための学問だけでなく、医療に従事することの喜びも教えてあげられたらなぁと思っています。講義の前後だけでなく、病院実習の時も遠慮せずに声を掛けてくださいね！楽しく学びましょう！

林　典子　医療保育科　講師

これまで障害児施設と小児病棟で勤務していました。医療保育はとても奥が深く難しさはありますが、その分やりがいも感じられる仕事です。その魅力をいろいろな形で皆さんにお伝えしていければと思っています。

渡邉 敏剛　庶務課 用務員

学内の環境を整えて、学生の皆さんが快適で楽しい学園生活が出来るよう、縁の下の力持ちになりたいと思っています。分からないことがあれば、気軽に訊いてください。

中務 完次　学生寮舎監

この4月から、附属高校学生寮よりこちらの学生寮に勤務させていただくことになりました。高校では9年間勤務しましたが、その経験を生かして学生の方々により快適な寮生活が送れるよう“縁の下の力持ち”になろうと思います。

中務 由起　学生寮寮母

全国から集まった皆さんの、にぎやかな声が毎日学生寮に響いています。素敵な大学生活を送っていることと思います。今回の貴重な出会いと時間を大切に、有意義な学生生活を送ってほしいと思います。

堀川 政文　学生寮舎監

学生寮舎監として、6月7日付で勤務することになりました。現在研修中であり、学生の皆さんと和気あいあいと寮生活できるよう、また良き親代わりとして寮母共々誠心努力したいと思います。

堀川 里美　学生寮寮母

学生寮寮母として、5月1日より勤務しています。皆さんの生活の場として、楽しかったと思えるような寮であって欲しいと願っています。これから学生の皆さんと日々、一歩ずつ成長していきたいと思います。

本学で行われた授賞式の様子

第７回「国見町桜のうた」２名が入選

◆意気込んで駆け抜けたレッドカーペット靴の裏には桜の花弁
学生の部「さくら賞」　妹尾　早紀

◆思い出す昼の春風あたたかく友との時間舞い散る桜
学生の部「さくら賞」　滝澤　恵

このコンテストは、報道ではあまり取り上げられていませんが、東日本大震災で甚大な被害を被った福島県伊達郡国見町主催の短歌のコンテストです。国見町町役場をはじめとした公共施設も被害に遭っています。町役場も仮設であるという状況の中で、4月26日に本学宛に、入選のお知らせをいただきました。さらに、困難な状況の中「入選作歌集」まで編集され、お送り頂きました。全国的に自粛ムードが漂い、風評被害にまで苦しんでいらっしゃる中で、コンテストを実行されたことに最大級の敬意を払いますと共に、この場を借りまして、お礼申し上げます。

コンテストでは、医療保育科2名が「さくら賞」を受賞しました。

読売新聞　「編集手帳見出しコンテスト」佳作に11名　学校賞も受賞

受賞者

◆看護科2年
柴田　牧子
原見　夏紀

◆臨床検査科2年
河井　真子
小林　建太
田岡　知恵

◆放射線技術科2年
入江　彩加
榎田　哲也
濱本友里江

◆医療保育科2年
冨田　千尋
中村　仁美
山本　佑華

読売新聞の朝刊一面コラム「編集手帳」に見出しをつける第7回「編集手帳見出しコンテスト」（読売新聞大阪本社主催）において、本学から11名が佳作に選ばれました。このコンテストには、昨年度後期の「文章表現」受講者約300名が取り組みました。これにより学校賞も受賞しました。受賞者は、左記の通りです。

第5回 いのちと献血俳句コンテスト学校賞受賞

第5回いのちと献血俳句コンテストにおいて、医療保育科3年生が団体賞を受賞しました。これは、昨年度後期「幼児と国語」において46名が取り組んだものです。

平成23年1月13日に岡山県赤十字センターにて行われた表彰式に、医療保育科を代表して、白石響子さんと三村恵里奈さんが出席しました。

教育の質の向上を求めて

副学長　山口恒夫

平成三年というと今から二十年も前、大方の学生諸君は生まれてもいなかった頃です。実はこの年の大学審議会答申がスタートフラッグとなって、大学設置基準や学校教育法などが次々に改正され、大学には「社会的使命や独自性を認識し、自らの教育研究活動の継続的な質の保証を図るための積極的な取り組み」が求められるようになりました。つまり、大学は〝点検〟と〝評価〟という手段を使って日常の教育研究活動や業務をチェックし、そのチェックに基づいて教育の質の向上に積極的に取り組むことが要求されるようになったのです。

年々、点検と評価の実施内容や検証方法は充実し、現在では、当該大学自身で行う〝自己点検・自己評価〟、非常に近い専門分野をもつ大学間で行う〝相互評価〟、それに文部科学大臣が認定した評価機関で行う〝第三者評価〟という三本柱が打ち立てられています。

ところで、スタートフラッグが振られてからの本学における点検と評価の歩みは、どうだったのでしょうか。少し振り返って見ましょう。

最初は〝自己点検・自己評価〟です。平成五年度に、本学は独自色の濃い自己点検・自己評価を行い、その結果を『自己点検・評価報告書』として公刊しました。現在の視点からその内容を見てみますと、評価・点検の記述にはそれこそスタート時の戸惑いさえ感じてしまう程です。それ以後、『自己点検・評価報告書』は隔年に公刊され、その数は八冊にも達しました。最も新しいものは、平成二十三年二月に公刊された『自己点検・評価報告書 平成二十・二十一年度』です。この報告書には、「建学の精神・教育の理念・教育目的・教育目標」「教育の内容」「教育の実施体制」「教育目標の達成度と教育効果」「学生支援」「研究」「社会的活動」「管理運営体制」などについて行った点検と評価の結果がたっぷり述べられています。なお、これまでに刊行されたすべての『自己点検・評価報告書』は図書館に配架されていますから是非ご覧になり、ご自分で本学における教育の質の移り変わりをお確かめください。

さて、次は〝相互評価〟です。平成十一年度から十四年度にかけて、本学は診療放射線技術科を設置している京都医療技短期大学（現、京都医療科学大学）との間で相互評価を行い、平成十五年三月に『川崎医療短期大学と京都医療技術短期大学との相互評価報告書』を公刊しました。次いで、平成二十二年度には本学と生活福祉学科と幼児保育学科を設置している西九州大学短期大学部との間で相互評価を行い、平成二十三年三月にその評価結果を『西九州大学短期大学部と川崎医療短期大学との相互評価報告書』として公刊しました。これらの相互評価の内容についても、図書館に配架されている報告書で直接ご覧下さい。行間からも、各大学における教育に対する客観的評価の厳しさを垣間見ることができると思います。

最後に紹介するのは〝第三者評価〟です。本学は平成十八年度に、文部科学大臣が認証した財団法人短期大学基準協会による第三者評価を受けました。この評価は〈当事者以外の者（第三者）が裁くもの〉であり、客観性が著しいものといわれています。平成十八年度に裁かれた本学の結果は、同協会の公表による「平成十八年度第三者評価機関別評価結果（全文）」として、本学のホームページ上に掲載されています。是非ご覧になってください。なお、第三者評価は七年に一回受けることになっています。したがって、次に本学がこの評価を受けるのは来る平成二十五年度です。もうすぐですね。

締めくくりとして申しあげたいことがあります。それは、大学としての質が向上し、社会的使命や独自性を発揮するためには、学生諸君の協力が極めて重要なことです。大学に対して「どのような教育や指導を望んでいるのか」「教育環境の改善点はなにか」「どのような学生生活を送りたいのか」などなどについての意見を積極的に伝えることは、大学の質を向上させることに直接つながっているのです。

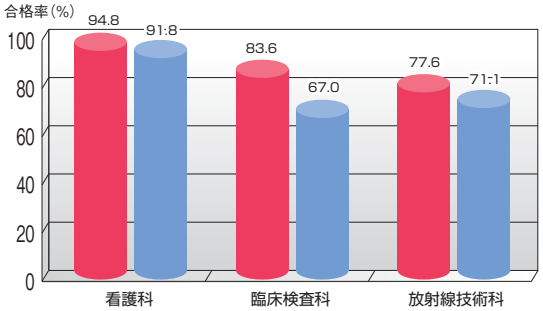
平成22年度　国家試験結果と進路状況

3月末に平成22年度国家試験合格発表があり、今回も全国合格率を上回る成績を収めました。ただ、医療技術系の伝統校である本学として満足できる結果とはいいがたく、今から来年の試験に向けて対策に取り組んでいます。

就職については、就職希望者254人に対して、求人件数1,876件、求人数2,506人、就職率はほぼ100％と非常に好調に推移しました。進学については、岡山大学等の国公立大学へ15人、川崎医療福祉大学等の私立大学へ3人、私立短大へ1人、専門学校へ1人でした。

各学科の最新情報は、本学ホームページをご覧ください。

平成22年度国家試験合格率（本学と全国）　■本学合格率　■全国合格率



	看護科	臨床検査科	放射線技術科
受験日	2月20日	2月23日	2月24日
発表日	3月25日	3月31日	3月31日

協助会報告

平成23年度 川崎医療短期大学 協助会役員

会　長	小郷　哲	（放射線技術科3年生）
副会長	角田 篤司	（臨床検査科1年）
副会長	今城 吉成	（川崎医療短期大学学長）
監　事	赤木　薫	（医療保育科3年生）
監　事	四田 和也	（医療保育科2年）

平成22年度収支決算書及び平成23年度収支予算書

4月7日の入学式終了後に開催された平成23年度協助会総会において、下表の平成22年度収支決算書及び平成23年度収支予算書が承認されました。これにより、今年度も学生の皆さんの学習、福利厚生、学生生活及び進路等に関する諸活動についての支援が行われます。

平成22年度　川崎医療短期大学協助会収支決算書

一般会計　（円）

収入		支出	
会費	10,000,000	学生研修助成費	3,408,330
雑収入（預金金利）	13,900	厚生福利費	2,573,298
前年度繰越金	3,591,952	学生生活指導費	2,200,080
		進路指導助成費	889,232
		渉外費	110,000
		事務費	388,257
		雑費	5,880
		予備費	0
		次年度繰越金	4,030,775
合　計	13,605,852	合　計	13,605,852

特別会計　（円）

収入		支出	
前年度繰越金	25,112,951	学生支援センター備品、什器等設備費	4,930,000
雑収入（預金金利）	26,677		
平成22年度基金	200,000		
合　計	25,339,628	合　計	4,930,000
		差引残額	20,409,628

平成23年度　川崎医療短期大学協助会収支予算書

一般会計　（円）

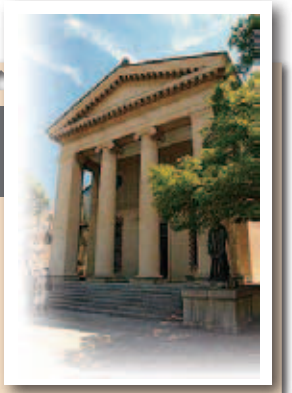
収入		支出	
会費	10,800,000	学生研修助成費	4,000,000
雑収入（預金金利）	20,000	厚生福利費	2,240,000
前年度繰越金	4,030,775	学生生活指導費	2,290,000
		進路指導助成費	910,000
		渉外費	150,000
		事務費	480,000
		雑費	10,000
		予備費	4,770,775
		次年度繰越金	
合　計	14,850,775	合　計	14,850,775

特別会計　（円）

収入		支出	
前年度繰越金	20,409,628		0
雑収入（預金利子）	30,000		
平成23年度基金	200,000		
合　計	20,639,628	合　計	0
		差引残額	20,639,628

※特別会計は、教育実習のための施設設備及び学生のために特に必要なものを備えることを目的とした積立金です。

大原美術館 学校メンバーズ制度



川崎学園では、大原美術館（倉敷市）の「学校メンバーズ制度」に加入しています。本学学生であれば、学生証提示で何度でも無料入館できます。大原美術館は日本で最初にできた西洋美術館で、エル・グレコの「受胎告知」やモネの「睡蓮」を始めとする多数の美術品を所蔵・展示しています。また美術館周辺は、昔の街並みを保存した「美観地区」であり、県内随一の観光スポットとなっています。ご家族や友人とともにぜひ訪れてみてください。

川短 Up by moodle !!!

2011年4月1日、川崎医療短期大学で使用しているe-Learning「Moodle」のサーバを一新しました。サーバの性能・記憶容量ともに前サーバより大幅パワーアップ、講義やアンケート調査など学生・教職員の方々により快適に操作いただけるようになりました。ぜひご活用ください。

http://jc-els.kawasaki-m.ac.jp

教職員の皆様へ　教材アップは、まず登録申請から
学生のみなさんへ　まずは学内外からトップページへ

Moodleは世界中で広く使用されているLMS(Learning Management System)です。
インターネットを使用して、学習教材コンテンツを配信します。

川崎医療短期大学eラーニング専門委員会

地球温暖化対策ワーキンググループだより

川崎エコプロジェクト

ゲップとオナラ

地球の温暖化をもたらす代表的な気体は、二酸化炭素とメタンです。中でも、メタンの温暖化効果は二酸化炭素の約20倍にもなるといわれています。

ところで、このようなメタンを猛烈に出す生きものがいます。ウシとシロアリです。ウシがゲップのたびに出すメタンの量と、シロアリがオナラの際に出すメタン量は、それぞれ大気中に含まれる総メタン量の約15%と約3%にもなるというのですから驚きです。

では、どうしてゲップとオナラによって多量のメタンが出てしまうのでしょうか。実は、ウシの胃やシロアリの後腸には多数の微生物が棲んでいて、これらの微生物が宿主の食べた草や木材の成分（セルロース）を分解するときに、多量のメタンを出してしまうからです。

美味しい牛肉や美しい木造建築の裏側には、地球温暖化という大問題が潜んでいることになりますね。

平成二十三年度 川崎医療短期大学 第二回公開講座

口腔ケアで介護予防

いつまでも自分らしく、おいしく食べるために

日時　平成23年8月20日(土)
10:00～12:00

場所　川崎医療短期大学
体育館　101教室

講師　松尾　敬子　他
(前岡山県歯科衛生士会会長)

口腔ケアは、おいしく食べる、楽しく話す、さらに感染症予防に欠かすことのできない介護予防のひとつです。
お口をきれいにして最近開発が進む介護食の試食もしてみませんか。

入場無料

申込み・問い合わせ先
〒701-0194　岡山県倉敷市松島316
川崎医療短期大学　公開講座係
TEL：086-464-1032
FAX：086-463-4339
koukai@jc.kawasaki-m.ac.jp

【JR 山陽本線】中庄(なかしょう)駅下車、徒歩15～20分　※駅前タクシー利用 5分

主要行事（7月～9月）

7月	24日	第4回オープンキャンパス
	28日	放射線技術科3年生臨床（臨地）実習終了
8月	1日	定期試験開始
	20日	第5回オープンキャンパス
		第2回公開講座
	22日	第12期師生訪問団上海訪問（～26日）
	29日	医療保育科2年生保育実習Ⅰ（施設）（～9／7）
9月	24日	放射線技術科授章式
	26日	臨床検査科ワッペン授与式
	27日	臨床検査科3年臨地実習（～12／1）
		放射線技術科2年臨床実習（～2／16）
	30日	看護科3年生臨地実習終了

川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」（73号）

2011年6月発行

編集発行：広報誌編集委員会
天野貴司（放射線技術科・委員長）
橋本美香（一般教養・副委員長）
名木田恵理子（一般教養）
重田崇之（一般教養）
滝本茂子（看護科）　永瀬澄香（臨床検査科）
河邉聡子（介護福祉科）　中井　靖（医療保育科）
山田　篤（庶務課）　重政有里（庶務課・書記）

写真協力：二葉写真館
印　　刷：友野印刷株式会社
皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。
〒701-0194 倉敷市松島316
川崎医療短期大学 広報誌編集委員会
電話：086-464-1032（庶務課）
Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp
ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/

OPEN CAMPUS 2011

開催スケジュール・各学科模擬講義＆体験実習

第3回　6/12日　13：00～16：00
附属病院見学(全学科希望者) 10:30～11:30
教えます 川崎医療短期大学の入試の中身

第4回　7/24日　10：00～15：00
★附属病院見学(放射線技術科)
夏休みの1日があなたを医療・福祉・保育のスペシャリストに導く!

第5回　8/20土　13：00～16：00
★附属病院見学(臨床検査科)
きっとあなたの未来が見えてくる 川崎医療短期大学

第6回　10/8土　10：00～15：00
10/9日　10：00～15：00
★附属病院見学(臨床検査科)(土･日)／(放射線技術科)(土)
探検･川崎学園 未来の自分を見つけよう

◆参加された方に入試資料・記念グッズなどプレゼント!!
◆当日ＪＲ中庄駅から往復無料バス運行
（中庄駅⇔本学）（第６回は運行がありません）
◆駐車場あり（当日無料）

事前申込不要!!
保護者の方や先生方もお気軽にご参加ください

内容は変更になる場合がありますので、事前にホームページ等でご確認ください。
http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc

岡山県倉敷市松島316 TEL:086-464-1033

編集後記

三月十一日、東日本で大震災が発生しました。被害を受けられた皆様へ心からお見舞い申し上げます。毎日報道される震災の様子に心を痛めながら自分の今できること、しなければいけないことを考え過ごす毎日です。そのような中、本学では平成二十三年度がスタートしました。年に四回発行される広報誌ですが、例年この六月号では期待に胸を膨らませる新入生の様子をお伝えしています。今回はその中でも各学科で企画される新入生の歓迎行事を特集しました。入学して間もなく緊張の連続の毎日に学外へ飛び出し、日頃目にすることがない学生の様子や教員の様子をお伝えできたら良いと考えました。

そして、広報誌編集委員会も新たなスタートを迎えました。今号より一部の委員が交替し、新体制で編集作業が進みました。これまで同様に多くの方々に分かりやすく見やすい誌面を作成しようと委員一同努力しております。また、この広報誌を作成するにあたり、多くの方々に執筆をご依頼し、いつも快く引き受けていただいております。誌面をお借りして深く感謝いたします。これからも引き続き広報誌に暖かいご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

（河邉　聡子）

既刊の「若きいのち」は、本学ホームページでご覧いただけます。